

(別紙)

提出書類の区分	<input checked="" type="checkbox"/> 温室効果ガス排出抑制計画書 <input type="checkbox"/> 温室効果ガス排出抑制計画書(変更)				
住所(法人にあっては、主たる事務所の所在地)	宮崎県延岡市旭町二丁目1番地3				
氏名(法人にあっては、名称及び代表者の氏名)	旭化成株式会社 専務執行役員□ 延岡支社長 濱井 研史				
主たる業種	16化学工業				
事業概要	①(セオラス)結晶セルロースの製造 ②(不織布、エルタス工場)不織布の製造 ③(技術研究所)繊維技術の研究開発 ④(電子・機能製品事業部)ペリクルの製造及び設計開発 ⑤(ベンベルグ工場)キュプラ長繊維・短繊維及びキュプラスパンボンド不織布の製造 ⑥(延岡動力部)蒸気、電力の製造及び供給 ⑦(愛宕事業場)苛性ソーダ及びその他無機薬品、綿薬、フッ素系イオン交換膜用樹脂及び塩化ビニリデン系樹脂の製造 ⑧(電解システム技術部)電解槽の設計・開発及び製造 ⑨(レオナ樹脂・原料工場)ポリアミド原料及び樹脂の製造 ⑩(レオナ繊維工場)ポリアミド繊維の製造 ⑪(日向化学品工場)塗料硬化剤(デュラネート)の製造 ⑫(ハイポア日向工場)機能膜(ハイポア)の製造				
事業者の区分	<input checked="" type="checkbox"/> みやざき県民の住みよい環境の保全等に関する条例施行規則第9条第1号に該当する特定事業者 <input type="checkbox"/> 同規則第9条第2号に該当する特定事業者 <input type="checkbox"/> 同規則第9条第3号に該当する特定事業者 <input checked="" type="checkbox"/> 同規則第9条第4号に該当する特定事業者 <input type="checkbox"/> 特定事業者以外の者				
計画期間	1 年度 ~ 2 年度				
排出状況及び目標	目標設定の方法	基準年度の実績①	前年度の実績	目標年度②	増減率
		30 年度	年度	2 年度	(②-①)/①×100
	総排出量	747,089 t-CO2	t-CO2	745,000 t-CO2	-0.3 %
	原単位の排出量				%
原単位の考え方					
目標達成のための基本方針	・バイオマス発電所におけるバイオマス燃料の継続使用の促進 ・生産プロセスから排出される温室効果ガスの排出量の削減 ・一酸化二窒素分解設備稼働率97%以上の維持 ・省エネの推進 ・地球温暖化対策・省エネに関する教育の推進				

<p>目標達成のための 推進体制</p>	<p>延岡・日向地区工場のR Cに関して延岡支社長が権限と責任を持っており、そのもとで各工場も活動している。各工場は、それぞれ体制をつくり、排出抑制を図っている。</p> <pre> graph LR A[支社長] --- B[セオラス製造部長] A --- C[不織布工場長] A --- D[エルタス工場長] A --- E[技術研究所長] A --- F[電子・機能製品事業部長] A --- G[ベンベルグ工場長] A --- H[延岡動力部長] A --- I[愛宕事業場長] A --- J[電解システム技術部長] A --- K[レオナ樹脂・原料工場長] A --- L[レオナ繊維工場長] A --- M[日向化学品工場長] A --- N[ハイボア日向工場長] </pre>
<p>目標達成のための 措置の内容</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ バイオマス発電所におけるバイオマス燃料使用率60%以上 ・ 電解電力の削減 ・ プロセスを最適化することによる蒸気及び電力使用の削減 ・ 電動機器のインバーター化、高効率機器への更新 ・ 一酸化二窒素分解設備の稼働率97%以上の維持及び運転最適化による省エネ ・ 工場及び事務所内照明のLED化 ・ 冷凍機、空調機の更新
<p>特記事項</p>	<p>生産量増加及び新工場稼働に伴い、排出量が増加するが、上記の目標達成のための措置を行いエネルギー使用量の削減を図る</p>